

かかりつけ薬局の 知っ得情報

⑤



「ポリファーマシー」と（けん）に少し異常がある
 という言葉をご存知でしょ
 うか。ポリとは、多くの
 という意味の接頭語で、しまし
 ポリファーマシーは高齢
 者が数多くの薬を服用し
 てその副作用（薬の悪い影
 響）から新たな症状を生
 んでしまう問題を指しま
 す。

「けん」に少し異常がある
 ので痛み止め飲んで、もつ
 とひどくなったら手術を
 してしまおう」となり、内科
 では「血糖値が高く、足も
 痺れているので神経障
 害の可能性もある」と、イ
 ンスリンを注射するよう
 になるかもしれません。



日本老年医学会発行の
 『高齢者の安全な薬物療
 法ガイドライン201
 5』は、6種類以上の薬の
 服用によって副作用が出
 やすくなるリスクを示し
 ています。とはいえ、高齢
 者の場合、1つの症状がさ
 まざまな原因によって起
 こっていることも多く、1
 つの辛い症状をとるため
 に多科に受診することに
 なります。

さらには、それらの薬の
 ために胃腸障害を起こさ
 ないための薬、足がつると
 という訴えが出て漢方薬、
 というようにどんな薬
 が増えていくことになっ
 てしまいます。一方、高齢者
 は薬を解毒する肝臓や腎
 臓の機能が弱くなってい
 ますので、薬が多くなると
 副作用が出やすくなるの
 です。



豊かな社会生活と健康な暮らしを提供

ウエルシア薬局松戸高塚薬局
松戸市高塚新田232

☎047・312・7775

<http://www.welcia-yakkyoku.co.jp/>

一般社団法人 松戸市薬
 剤師会 ☎047・360・
 3600

担当薬剤師 澤田康裕

今年4月の診療報酬改
 定において、薬剤師は医
 師と連携して薬を6種類
 以下に減らすよう求めら
 れています。また、処方箋
 に血液検査の結果を記載
 する病院もあります。副
 作用を薬剤師と医師が連
 携して早期に発見してい
 くためです。こうした血液
 検査値は薬の安全性を維
 持するためにも重要な情
 報になります。薬局を訪
 れる際には症状の変化が
 ある場合は薬剤師に伝え、
 血液検査値も見せるよう
 にしましょう。